

## 広島派遣研修で学んだこと

糸魚川東中学校 2年 紺野 真翔

今回の広島派遣研修で学んだことはもう絶対に戦争を起こしてはいけない、戦争の悲惨さ、命の尊さでした。また、他の学校の仲間と一緒に行ったことで友達も増え、楽しく学習することができました。

1日目に被爆体験講話を聞いて、実際にどういうことが起きたのかをより詳しく知りました。その中でも放射能による差別、爆風後の悲惨な人々の姿の話を聞き、胸がとても苦しくなりました。苦しい記憶ですが、平和への願いを込めて広島で講話の活動をしていることがすごいと感じました。戦後80年で実際の被爆体験の話を聞ける機会が少なくなる中、このような話を聞くことで今まで知らなかったことを知り、その後の2日間の研修がとてもわかりやすいものになりました。

2日目は広島の平和記念式典に参加し、平和の尊さを強く感じました。式典では黙とうが行われ、原爆で犠牲になられた方々に心から祈りを捧げました。静かな会場の雰囲気から、戦争の悲惨さと命の大切さを実感しました。また、小学生代表の平和への誓いを聞き、時の苦しみや悲しみを知ることで、二度と同じ過ちを繰り返してはいけないと強く思いました。海外から多くの人々が参加しており、平和への願いが国境を越えて共有されていることに感動しました。

その後、海上自衛隊呉史料館に行きました。そこには戦争中に使われたものが多くありました。実際に使われた潜水艦があり、中にも入れました。次に大和ミュージアムサテライトに行きました。大和ミュージアムサテライトで

---

は戦艦大和や呉の歴史について学習しました。ここでは戦艦大和の技術にも驚きましたが、何より戦艦大和の作り方がとても精密でした。また、戦争にどんな兵器が使われたのか知ることができました。

2日目の最後はとうろう流しをしました。とうろうに願いを込め、多くの方々が参加していました。美しく流れるとうろうの様子を見ながら、それぞれの人の思いがかなうことを願いました。

3日目は平和記念資料館を見学しました。ここには戦争で亡くなってしまった方の私物や苦しんでいる様子の写真が飾られていました。血がついてぼろぼろな衣服や、人の影のように黒く残ってしまった石、原爆が落とされたときの写真を見て、その凄まじさに驚きました。外国の方も多く、いろいろな人に戦争の恐ろしさが伝わり、二度と繰り返してはいけないと感じてくれるといいなと思いました。

この3日間で、戦争は二度と起こしてはいけない、命を奪う行為は平和にはつながらないことを改めて実感しました。

なぜ、戦争をしなくてはいけなかったのか、戦争によって何が変わったのかを考え、今の平和な世界で生きていられることに感謝して生活しなくてはいけないと思い、今回広島派遣研修に参加し、教科書だけでは学ぶことができないことを実際に肌で感じることができました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。